○ホームページ:「はらまち九条の会」で検索してご覧ください。

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 311

2018(平成30)年2月1日(木)発行

○3.11当日に**「福島第一原発のメルトダウン」**を語り、**「原発事故発生の11日から12日の最初の一日を、政府と東電が空費し、初動対策で失敗したことがその後の深刻化を招き、"失われた一日"だ」。**これは1月14日に64歳で死去した九州大学教授・元副学長の**吉岡 斉**(よしおか・ひとし)さんの言葉です。東京電力福島第一原発事故の政府事故調査・検証委員会委員で、脱原発運動の中心の方でした。

"憲法のあるべき姿を"と安倍首相
子どもや孫のための改憲なのか

改憲へ前のめり～首相の年頭所感

◀1月14日『福島民報』絵・朝倉悠三さん(会員)

9条に自衛隊明記の世論調査

質問	毎日 20・21日	NHK 6～8日	読売 12～14日
○9条の1・2項はそのままで、自衛隊を明記する	31%	16%	32%
○9条の2項を削除して自衛隊を戦力として位置付ける	12%	30%	34%
○自衛隊を憲法に明記する必要はない	21%	38%	22%

▲1月24日『毎日新聞』

●安倍晋三首相は新年早々、「憲法のあるべき姿を提示する」と述べ、改憲への強い意欲を示しています。しかし国会では、「丁寧に説明」せず、「謙虚な姿勢で真摯な政権運営」に当たってはいません。●改憲したい内容も、緊急事態条項や教育無償化などをダシにして、「九条改定」に前のめりで一貫性もなく、国民も困惑しています。

<安倍首相もどうぞ!
自民党古老のことば>

○「憲法9条は変えてはならない」「再び戦争になるような道は歩むべきではない」「国会の審議が大政翼賛会のようにならないように」「沖縄の大変な状況を何とかしたい」**野中広務(のなかひろむ)1月26日92歳で死去。**

○「9条は変えるべきではない。戦争に日本が巻き込まれなかったのは9条が機能していたから」**亀井久興**

○「戦争を知っている世代でなく、戦争を知らない世代が政治の中枢となったときはとても危ない」**田中角栄**

○「日本は海外で武力行使は絶対いかん。違憲の集団的自衛権など愚かなことをなんで考えるのか」**後藤田正晴**

避難区域で進む家屋の解体撤去

	申請件数	解体済件数
南相馬	2,670	2,350
川俣	390	360
楢葉	1,420	1,330
富岡	2,400	1,700
大熊	190	110
双葉	61	9
浪江	2,840	1,660
葛尾	360	340
飯舘	1,390	740
田村	19	同左
川内	102	同左

▲2017.11.11「福島民報」

震災から7年　荒廃も進み解体の家屋が増加

◇大震災からまもなく7年。津波や原発事故で避難区域内の家屋の荒廃が進み、現在解体撤去作業が急ピッチで進行中です。

◇でも、個人の資産という大きな壁もありますが、歴史的、文化的な価値のある、しっかり保存し管理すべき、記憶や記録に留めておくべき家屋や古民家も多いはずです。

◇小高区の憲法学者鈴木安蔵の生家も解体撤去の対象になっていて、故郷の遺産として保存しようとの声も高まっています。

◇1960年代、広島の原爆ドームの保存か解体かの問題が起こった時、**「形を失うと、心からも消え去り、記憶も失う」**と訴えて保存が決定されたことを思い出します。

No. 311

「いのち」の旗を掲げ続ける

小高区同慶寺住職・田中徳雲さん

（はらまち九条の会事務局員・44歳）

◀“いのち”見えますか？」と話す徳雲さん。

相馬藩主の菩提寺の同慶寺（曹洞宗）

小高区の旧陸前浜街道（旧6号線）を北上した町はずれに、田中徳雲さんの同慶寺があります。同慶寺は相馬中村藩主の菩提寺の名刹で、本堂の西には歴代藩主や夫人の墓25基、堂々たる五輪塔が並んでいます。

その同慶寺の北の入り口には、震災後「いのち」という手書きの旗が掲げてあります。

沢庵和尚にあこがれて僧侶に

田中さんはいわき市小名浜の一般家庭の生まれです。高校2年生の頃「世の中で何が出来るか」と考えていた時、吉川英治の小説『宮本武蔵』を読み、その沢庵和尚にあこがれて僧侶になろうと決心します。

京都花園大学文学部仏教科を卒業し、福井県の永平寺で5年間修行。その時お参りに来たこの同慶寺の住職探玄（たんげん）老師と出会い、子どもが無かった老師から「後継者に」と乞われて、平成13年からお勤めするようになり、今年で17年になります。

原発事故で異常な事態に

私も家族も、大震災では大変な目にあいました。原発の危険性は知っていたので、皆さんにも避難を呼びかけ、3月11日夕方6時に家族と福島市に出発。さらに会津若松市、長野県大町市、さらに福井県永平寺の宿坊で避難生活を送り、ようやく2013年3月から、いわき市の妻の実家を間借りして、4人の子どもたち（一男三女）とともに住んでいます。

現在は、いわきからお寺まで、ほぼ毎日通っています。小高に戻ることをあきらめて、市内、或いは遠方へ移住を決めた方も半数以上いる状況で、頼まれれば都合のつく限りどこでも行きますと、檀家の要請に応えてきました。震災後、移動した距離は延べ60万ｋｍ、如何に異常な事態かが分かると思います。

“いのち”が蔑ろにされている

震災後の国の対応を見ていて、いのちが蔑ろにされていると感じています。子どもの命を守らずに、企業や権威を守っている。本当に大切なものが見えなくなっていると思います。食べ物だってパック詰めの魚、お肉では、感謝していただくと言っても、命のリアリティが見えません。だから平気で残せるんだと思います。人間だけではなく、すべての生きものたちが、調和の元に幸せでありますように、祈り行動していきましょう。

（1月14日 聞き手・事務局山崎健一）

≪事務局より≫

この冬は厳寒で各地で大雪も。でも夜空の星々は殊のほか美しい！

会費納入ありがとうございます。感謝しながら会計簿に記帳しています。でも**昨年12月21日「会費4,000円」を郵送された方がいますが、お名前が不明**です。ご連絡ください。**（会計井上・TEL22-7511）**

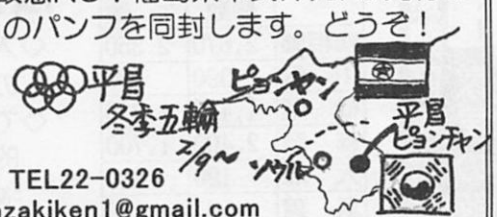
本会**会員数**は1月15日現在、418名（公表可351＋匿名67）です。ご高齢や入院、死亡で退会の方も多くなりました。一方で若い方も入会され、嬉しく希望を感じています。

1月22日の**市長選挙**は、門馬和夫さん16,494票（当選）、桜井勝延さん16,293票。

本会会員の桜井さんは、2期8年間大震災に遭遇の市長として、被災の収拾と復興のためご尽力されました。新市長門馬さんには、現憲法を遵守され市民の命や人権を守り、脱原発の市政継承を期待申し上げております。

6月の本会**総会**で、吉永小百合さんの詩朗読会、あるいは広瀬隆さんの講演会を原町で開催しようという声もあり、どうでしょう？

安倍9条改憲NO！福島県市民ｱｸｼｮﾝが発行の「**Article9**」のパンフを同封します。どうぞ！



≪「はらまち九条の会」事務局　市外局番はTEL0244≫

○会長：平田慶肇（ひらた けいいち）TEL24-1211・FAX24-4825
○事務局長：早坂吉彦　〒975-0016南相馬市原町区仲町2-161　TEL22-0326
○事務局次長：山崎健一　TEL090-7527-5453　Eメール：yamazakiken1@gmail.com
○会計：井上由美　〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内　TEL22-7511・FAX26-0892
○石田賢二　TEL080-5556-4037　○番場恵子　TEL22-0715　○志賀勝明TEL090-9530-5524
○HP：大浦祥見　TEL24-0704　○栗村文夫・桂子TEL090-8851-6904　○田中徳雲　TEL090-2796-4066

【まんさく展】2月15日（木）～19日（月）10時～18時・会場：武蔵野芸術劇場（中央線三鷹駅北口）
主催：北多摩東退職教職員九条の会・本会事務局作成の「被災地パネル」や会報が展示されます。

震災後、福島県浜通りの被災地を毎年訪問し、本会とも交流している九条の会の主催です